

報道発表資料/ Press Release

令和7年1月24日

独立行政法人日本学術振興会

令和6(2024)年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」
における採択大学の決定について

独立行政法人日本学術振興会(理事長 杉野 剛)は、令和6(2024)年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」において、本会が設置する「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」の選定に基づき、応募のあった大学の提案の中から、別添1の通り13件(うち、国立10件、公立1件、私立2件)の採択を決定しましたのでお知らせします。

1. 事業の概要

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」は、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

2. 選定プロセスの概要

令和6(2024)年5月28日(火)から令和6(2024)年7月29日(月)の間公募を行い、合計65件の応募を受け付けました。公募締め切り後、本会が設置する「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」における審査・選定に基づき、別添1の通り13件の採択を決定しました。

今年度は2回目の公募となり、令和5(2023)年12月に採択された12件と合わせて、全部で25件の採択大学が決定されました。

3. 事業ウェブサイト

URL <https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/>

(別添1) 令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」採択大学一覧

(別添2) 令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の審査における
地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評

(別添3) 地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会における審査の過程

(別添4) 地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会 委員名簿

(お問い合わせ)

独立行政法人日本学術振興会 経営企画部

大学経営支援課長 菅原 孝介

大学経営支援課長代理 横澤 明

電話: 03-3263-1877(直通) / E-mail: jsps-chukaku@jsps.go.jp

(注) メールを送る際は「*」を「@」に置き換えてください。

令和 6 年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」採択大学一覧

※記載内容は採択大学から提出された申請調書に基づき作成している。
なお、採択大学のみ法人名称を除いた形で記載している。

採択大学名	連携機関		提案内容の概要
	連携大学名	参画機関名	
弘前大学	－	ハーバード大学（Harvard University） ジョンズホプキンス大学（Johns Hopkins University） レスター大学（University of Leicester） アメリカ国立衛生研究所（National Institutes of Health） オクラホマ大学（University of Oklahoma） 国立大学法人京都大学 国立大学法人東京大学 国立大学法人筑波大学 国立大学法人東京医科歯科大学 国立大学法人東京工業大学 国立大学法人九州大学 公立大学法人京都府立医科大学 公立大学法人和歌山県立医科大学 公立大学法人名城大学 国立大学法人富山大学 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 学校法人名城大学 国立大学法人秋田大学 国立大学法人岩手大学 学校法人岩手医科大学 国立大学法人東北大学	グローバルWell-being共創社会を実現する異分野融合型総合知による 革新的卓越研究大学群の構築
山形大学	－	国立大学法人東北大学 公立大学法人会津大学 国立大学法人福島大学 公立大学法人宮城大学	地域と共創し、持続的な革新技術をもたらす研究大学～サステナブル社会 の実現と南東北の地域創生に貢献～
横浜市立大学	－	学校法人神奈川大学 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学校法人関東学院 関東学院大学 学校法人慶應義塾 慶應義塾大学SFC研究所 学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 公益財団法人実中研 国立大学法人東京工業大学 国立大学法人東京大学 先端科学技術研究センター スタンフォード大学 アジアヘルスリサーチ&エデュケーションセンター（Stanford University, Center for Asian Health Research and Education） ルール大学ボーフム ソーシャルサイエンス学部（Ruhr University Bochum, the Faculty of Social Science）	共創を加速する「よこはまデータサイクル」を構築し、未来社会における高い ヘルスウェルビーイングを実現
新潟大学	学校法人中部大学	国立大学法人東北大学 国立大学法人大阪大学 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 オーフス大学（Aarhus University, Denmark） インド理科大学院大学（Indian Institute of Science, India） ボルドー大学（University of Bordeaux, France）	未来社会の“脳といのち”と“食と健康”のイノベーションを創出する研究拠点
長岡技術科学大学	公立大学法人大阪 大阪公立大学 公立大学法人国際教養大学 学校法人新潟科学技術学園 新潟薬科大学	国立大学法人豊橋技術科学大学 独立行政法人国立高等専門学校機構 国立大学法人東京工業大学 公立大学法人長岡造形大学 公立大学法人大阪 大阪公立大学工業高等専門学校 スイス連邦工科大学チューリッヒ校 大容量パワーエレクトロニクスシステム研究室(The Laboratory for High Power Electronic Systems,ETH Zurich) ライペーンラタ・ラハティ工科大学 エンジニアリング科学学部 リソース研究プラットフォーム（Re- Source Research Platform, LUT School of Engineering Science） ロンドン大学クイーン・メアリー校 工学・材料科学部(School of Engineering and Materials Science, Queen Mary University of London) ブリストル大学 化学科(Department of Chemistry, University of Bristol) フリードリヒ・アレクサンダー大学 ガラス・セラミックス研究所(Institute of Glass and Ceramics, Friedrich-Alexander Universität Erlangen-Nürnberg (FAU)) ヨーク大学 ヨークロボティクス研究室（York Robotics Laboratory, University of York） シェフィールド大学 制御システム工学科 (Department of Automatic Control and Systems Engineering, University of Sheffield)	公立大・高専連携による技術科学コンセプトの拡張とソーシャルインパクト 創出型SX研究大学の創生
山梨大学	国立大学法人福島大学	国立大学法人東北大学 国立大学法人東京工業大学 国立大学法人信州大学 国立大学法人京都大学 国立大学法人大阪大学 国立大学法人九州大学 学校法人成蹊学園 成蹊大学 国立研究開発法人物質・材料研究機構 技術研究組合FC-Cubic 公設試験研究機関山梨県産業技術センター サイモンフレーザー大学（Simon Fraser University） マレーシア国民大学（National University of Malaysia） ブラウンシュヴァイク工科大学（Technische Universität Braunschweig） ミュンヘン工科大学（Technische Universität München） ベルン大学（Universität Bern） ポール・シェラー研究所（Paul Scherrer Institute） ブルックヘブン国立研究所（Brookhaven National Laboratory） カリフォルニア大学マーセド校（University of California,Merced） ケベック大学（The Université du Québec） ポワティエ大学（University of Poitiers） 韓国エネルギー技術研究院（Korea Institute of Energy Research） マレーシアプトラ大学（University Putra Malaysia） ペトロナス工科大学（Petronas University of Technology）	グリーン水素を核に世界屈指の研究力を強化し、グリーンイノベーションで地 方創生を先導する

※記載内容は採択大学から提出された申請調書に基づき作成している。
なお、採択大学のみ法人名称を除いた形で記載している。

採択大学名	連携機関		提案内容の概要
	連携大学名	参画機関名	
藤田医科大学	国立大学法人浜松医科大学 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 岐阜薬科大学	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 国立研究開発法人精神・神経医療研究センター 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 国立研究開発法人量子科学研究開発機構 国立大学法人豊橋技術科学大学 ヘルシンキ大学（University of Helsinki） テュービンゲン大学（Eberhard Karls University of Tübingen） カーディフ大学（Cardiff University） マサチューセッツ工科大学（Massachusetts Institute of Technology） カリフォルニア大学アーバイン校（University of California, Irvine） デューク大学（Duke University） ノースカロライナ大学（University of North Carolina） 南洋理工大學（Nanyang Technological University） 香港科学技術大学（The Hong Kong University of Science and Technology）	世界トップレベルの精神・神経病態研究拠点を形成し、唯一無二のアカデミア創薬エコシステムを確立する
立命館大学	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 国立大学法人滋賀医科大学 学校法人順天堂 順天堂大学 学校法人浪商学園 大阪体育大学	国立大学法人東京大学 国立大学法人滋賀大学 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 学校法人立命館 立命館アジア太平洋大学 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	世界を牽引する身体圏研究の研究推進・人材育成拠点となり研究と社会実装を循環させる次世代研究大学となる
奈良先端科学技術大学院大学	－	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 国立大学法人東京工業大学 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 国立研究開発法人物質・材料研究機構 公立大学法人奈良県立医科大学 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人情報通信研究機構 カリフォルニア大学デービス校（University of California, Davis） スイス連邦工科大学チューリッヒ校（Eidgenössische Technische Hochschule Zürich） ストラスブルグ大学（University of Strasbourg） ボン大学（University of Bonn） フリードリヒ・アレクサンダー大学エランゲン＝ニュルンベルク（Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg） ガジヤマダ大学（Universitas Gadjah Mada） アイビービー大学（IPB University） インドネシア大学（Universitas Indonesia） 国立研究革新庁（Badan Riset dan Inovasi Nasional） マラヤ大学（Universiti Malaya） マレーシアサイエンス大学（Universiti Sains Malaysia） トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（Universiti Tunku Abdul Rahman） カセサート大学（Kasetsart University） チュロンコン大学（Chulalongkorn University） ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学（Vietnam National University, University of Science） ハノイ科学技術大学（University of Science and Technology of Hanoi） ベトナム科学技術院 バイオテクノロジー研究所（Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Biotechnology） ベトナム科学技術院 物質科学研究所（Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Materials Science） フィリピン大学デリマン校（University of Philippine, Diliman） アテネオデマニラ大学（Ateneo de Manila University）	研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学
徳島大学	－	国立大学法人宇都宮大学 公立大学法人大阪 大阪公立大学 国立大学法人滋賀医科大学 学校法人神戸薬科大学 神戸薬科大学 国立研究開発法人国立循環器病研究センター テクニオンイスラエル工科大学（Technion - Israel Institute of Technology） 学校法人神山学園 神山まると高等専門学校	光工学と医学・栄養学および情報科学の研究力を結集し、世界が直面する超高齢社会の課題解決に挑戦する
九州工業大学	公立大学法人北九州市立大学 国立大学法人長崎大学	国立大学法人東京大学 国立大学法人東京工業大学 国立大学法人室蘭工業大学 国立大学法人九州大学 国立研究開発法人情報通信研究機構 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 マレーシアプトラ大学（University Putra Malaysia） キングモンクト大学北バンコク校（King Mongkut's University of Technology North Bangkok） 台湾科学技術大学（National Taiwan University of Science & Technology） ニューヨーク市立大学（City University of New York） サピエンツァ大学（Sapienza – Università di Roma） ロレーヌ大学（Université de Lorraine）	開発フェーズの実行部隊・機能・教育を国内外の大学・企業に提供可能なイノベーション創出大学モデルの構築
長崎大学	国立大学法人宮崎大学 国立大学法人鹿児島大学	公立大学法人大阪 大阪公立大学 国立大学法人北海道大学 国立大学法人東京大学 国立感染症研究所 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）	プラネタリーヘルスの実現を目指し、世界を牽引する大学へ
熊本大学	－	国立大学法人東京大学 国立大学法人東北大学 国立大学法人九州大学 国立大学法人九州工業大学 公立大学法人熊本県立大学 学校法人東海学園 東海大学 国立台湾大学 国立陽明交通大学 国立清華大学 国立成功大学 熊本県産業技術センター	半導体実装から社会共創研究を通じて、地域イノベーションの実現と持続可能な産業都市構築を目指す。

令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の審査における
地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評

令和7年1月 24 日
地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会

令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の申請において、65 の大学が魅力的な提案を提出されたことに対し本委員会として心より敬意を表します。

各大学からの提案では、大学が自らの課題に真摯に向き合いつつ、10 年後に目指す姿を構想し、それに向けて強化が必要な研究分野や社会実装を目指すテーマを見出した上で、研究力の向上戦略とそれを実現するための計画が構想されていました。

その中でも特に採択大学については、主に、以下の点について総合的に勘案し、高く評価しました。10 年後には、これらの大学が世界の中で輝く大学となることを期待します。

- ① 客観的かつ多面的なアウトプット・アウトカム指標から大学の研究力を十分に分析していること
- ② 戦略の実現に向けて学長を中心とした取組が着実に実施されるよう、大胆かつ実効的な計画やロードマップを設けていること
- ③ 大学院改革を含めた、改革について大学全体への波及効果を期待できること
- ④ 地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能や体制が整備されていること
- ⑤ 地域社会との実効的な連携の下で地域課題解決に貢献しうる計画となっていること
- ⑥ 他機関との効果的な連携等を通じて自大学の強みを更に発展させる戦略となっていること
- ⑦ 戦略の推進に必要なガバナンス体制が整備されていること

なお、挑戦的な取組が多いがゆえに困難な道のりとなることも考えられます。文部科学省及び日本学術振興会には、外部有識者の知見も活用しつつ、各大学の主体的な取組を尊重した、大学に寄りそった支援を求めます。

不採択大学についても、学長を中心に全学的な戦略の検討を行い、魅力的な提案を申請されたことは大いに評価しています。特に、昨年度に引き続き申請された大学については、事業推進委員会からのコメント等を踏まえて多くの改善が見られました。しかしながら、戦略やそれを実行するための計画については、その解像度を高めたり、具体化を進めたりするための更なる掘り下げた検討が必要と考えられ、採択件数を事業全体で最終的に最大 25 件程度としている中で、今回の採択候補として選定しないものと判断しました。

本事業への申請のための全学を挙げた検討が今後の大学の発展に当たっての礎となり、研究大学として引き続き奮励されることを期待します。

本委員会ではこの2年間を通じて、昨年度公募では 69 件(提案大学:69、連携大学:

延べ 87)、今年度公募では 65 件(提案大学:65、連携大学:延べ 66)と、広く全国から大変多くの申請を受けて審査を行い、最終的に計 25 件(提案大学:25、連携大学:延べ 26)を採択にふさわしい大学として選定しました。また、これら大学群の提案の中には、国内だけでなく、多数の海外の大学・研究機関と連携・協力して行う事業が含まれており、グローバルな拡がりを持つものとなっています。

これらの大学群においては、その総体として、これまでの互いに競い合う関係を超えて、個々の特色を際立たせつつ、互いにその取組を共有し協力し合う関係も持つ集団(J-PEAKS 大学群)へと発展されることを望みます。その上で、伴走支援も活用しながら、大胆かつ実効的な改革を進め、国際卓越研究大学を含めた国内外の大学間での効果的な連携における中核的な存在を担い、日本の研究力を牽引する地域中核・特色ある研究大学へと発展されることを強く期待します。

さらにそれらの成果を、採択されなかった大学を含む大学群総体の研究力強化と人材育成につなげることにより、地域経済社会と国内外の地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーション創出に貢献することを希望します。

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会における審査の過程

令和6年

4月 22 日(月)	事業推進委員会(第8回)(公募要領等の審議)
5月 20 日(月)	事業推進委員会(第9回)(公募要領等の決定)
5月 28 日(火)	公募開始
6月 11 日(火)	公募説明会
6月 24 日(月)～6月 28 日(金)	申請意思表明書提出期間
7月 22 日(月)	事業推進委員会(第 10 回)(審査の進め方の審議)
7月 29 日(月)	申請調書提出期限
8月上旬～9月下旬	一次審査(書面審査)
10月 18 日(金)	事業推進委員会(第 11 回)(一次審査評価結果に基づく二次審査(ヒアリング)対象大学の選定)
11月中旬	二次審査(ヒアリング)
11月 28 日(木)	事業推進委員会(第 12 回)(ヒアリング審査を踏まえた審議)
12月 23 日(月)	サイトビジット
12月 25 日(水)	サイトビジット

令和7年

1月 14 日 (火)	事業推進委員会 (第 13 回) (採択候補大学の選 定)
1月 24 日 (金)	採択大学の決定・公表

※「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」については、「事業推進委員会」と記載。

令和6年10月現在

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会
委員名簿

上 山 隆 大	総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
○ 坂 田 一 郎	東京大学大学院工学系研究科 教授、東京大学地域 未来社会連携研究機構 機構長
佐 藤 康 博	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧 問
高 橋 真木子	金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント 研究科 教授、一般社団法人RA協議会 副会長
西 村 訓 弘	三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教 授
長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長
波多野 睦 子	東京科学大学 理事・副学長／工学院教授
福 田 秀 樹	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 顧問
福 田 裕 穂	公立大学法人秋田県立大学 理事長・学長
福 原 紀 彦	日本私立学校振興・共済事業団 理事長
◎ 山 崎 光 悦	福島国際研究教育機構 理事長

◎：委員長、○：副委員長

(50音順・敬称略)